

第4次千早赤阪村総合計画策定に関する 住民アンケート調査報告書

＜概要版＞

平成22年6月

千早赤阪村

目 次

I	調査の概要	1
II	住民の属性	2
III	調査の結果	4
	1. 千早赤阪村のイメージ	4
	2. 村への愛着度・村の魅力・定住意向	4
	3. 施策ごとの満足度	8
	4. 今後の土地利用	11
	5. 公共施設について	14
	6. まちづくりへの参加	18
	7. 地域活動・ボランティア活動、参画・協働について	18
	8. 行政の広域化	20
	9. 村の望ましい将来像	21

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、20 歳以上の村民の方々を対象として、村民の皆さんのご意見を総合計画の策定に反映させ、将来の“ちはやあかさか”、住みよい“ちはやあかさか”の実現をめざすために実施したものです。

2. 調査項目

- 回答者の属性について
- (1) 千早赤阪村のイメージ
- (2) 村への愛着度・村の魅力・定住意向
- (3) 施策ごとの満足度
- (4) 今後の土地利用
- (5) 公共施設について
- (6) まちづくりへの参加
- (7) 地域活動・ボランティア活動、参画・協働について
- (8) 行政の広域化
- (9) 村の望ましい将来像
- (10) まちづくりに対するアイデアや提案（自由意見）

3. 調査の設計

- (1) 調査対象地域
千早赤阪村全域
- (2) 調査対象
村内に在住する 20 歳以上の村民
- (3) 標本数
2,500 人
- (4) 抽出方法
無作為抽出
- (5) 抽出台帳
住民基本台帳・外国人登録原票（平成 22 年 2 月 28 日現在）
- (6) 調査方法
郵送配布・郵送回収による郵送調査法
- (7) 調査時期
平成 22 年 3 月 12 日～26 日

4. 回収結果

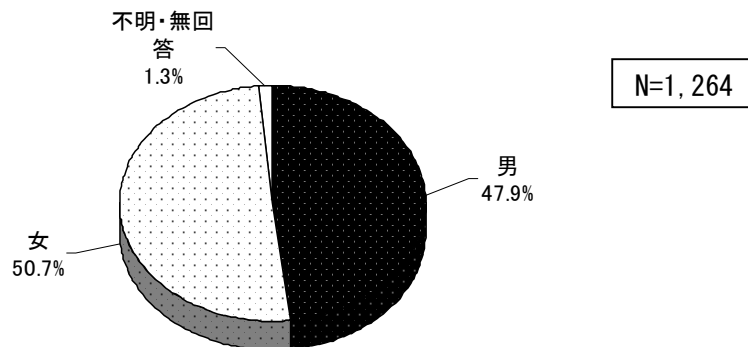
- (1) 標本数 2,500 (100.0%)
- (2) 有効回答数（率） 1,264 (50.6%)

Ⅱ 住民の属性

問1. ご自身のことについておうかがいします<○は1つ>

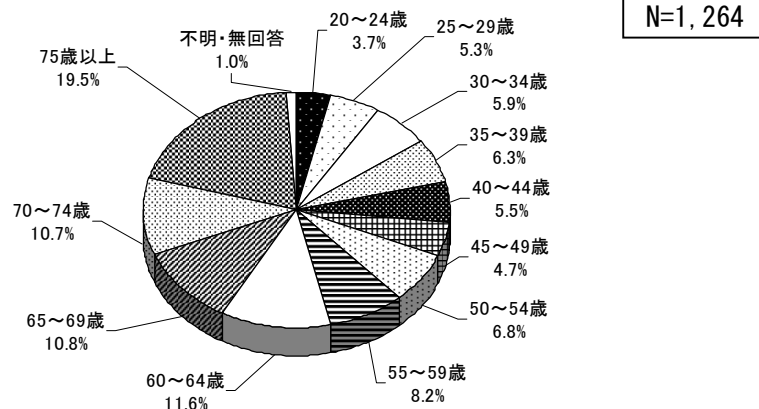
(1) 性別

1,264 人中、女性が 641 人 (50.7%)、男性が 606 人 (47.9%) で、女性の比率がやや高くなっています。



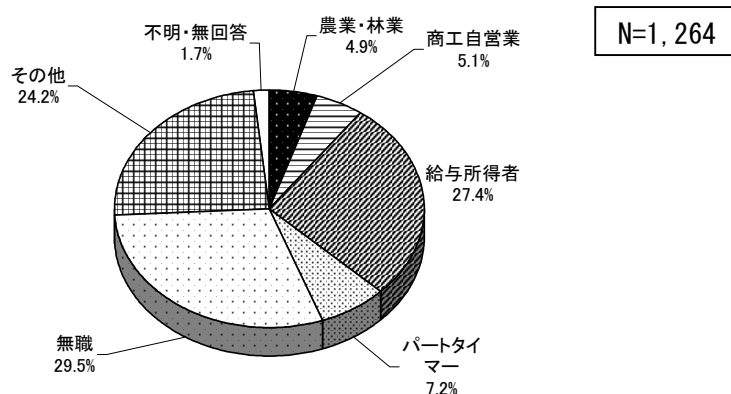
(2) 年代

年代別では、「75 歳以上」が 19.5% で最も高く、次に「60～64 歳」、「65～69 歳」となり、「60 歳以上」が半数以上を占めています。



(3) 職業

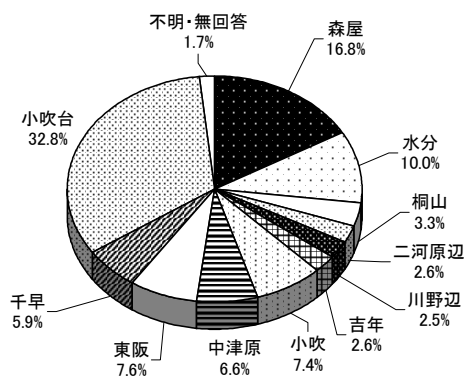
職業は、「無職」が 29.5% と最も多く、次いで「給与所得者」の 27.4%、「その他」の 24.2% となっています。



(4) 居住地区

問2 村内のどの地区にお住まいですか<○は1つ>

居住地区は、「小吹台」が32.8%でもっとも多く、次いで「森屋」が16.8%、「水分」が10.0%となっています。

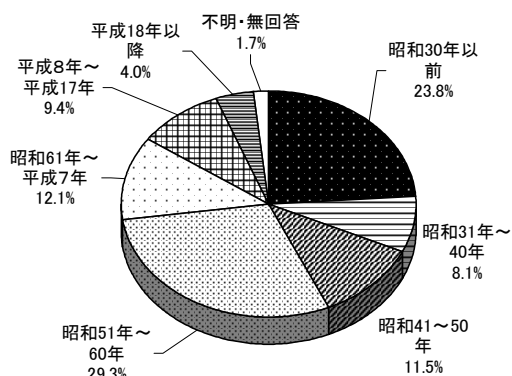


N=1,264

(5) 居住年

問3 いつ頃から千早赤阪村にお住まいですか<○は1つ>

居住年は、「昭和51～60年」が29.3%でもっとも多く、「昭和30年以前」からが23.8%となっており、昭和51年以降が半数以上を占めています。

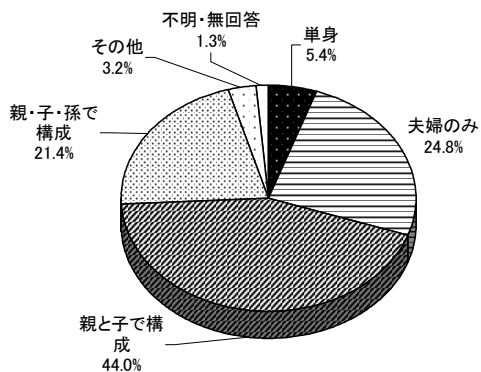


N=1,264

(6) 家族構成

問4 家族構成は<○は1つ>

家族構成については、「親と子で構成」が44.0%ともっとも多く、次いで「夫婦のみ」の24.8%となっています。



N=1,264

(7) 住宅の所有形態

問5 住んでいる住宅の所有形態は<○は1つ>

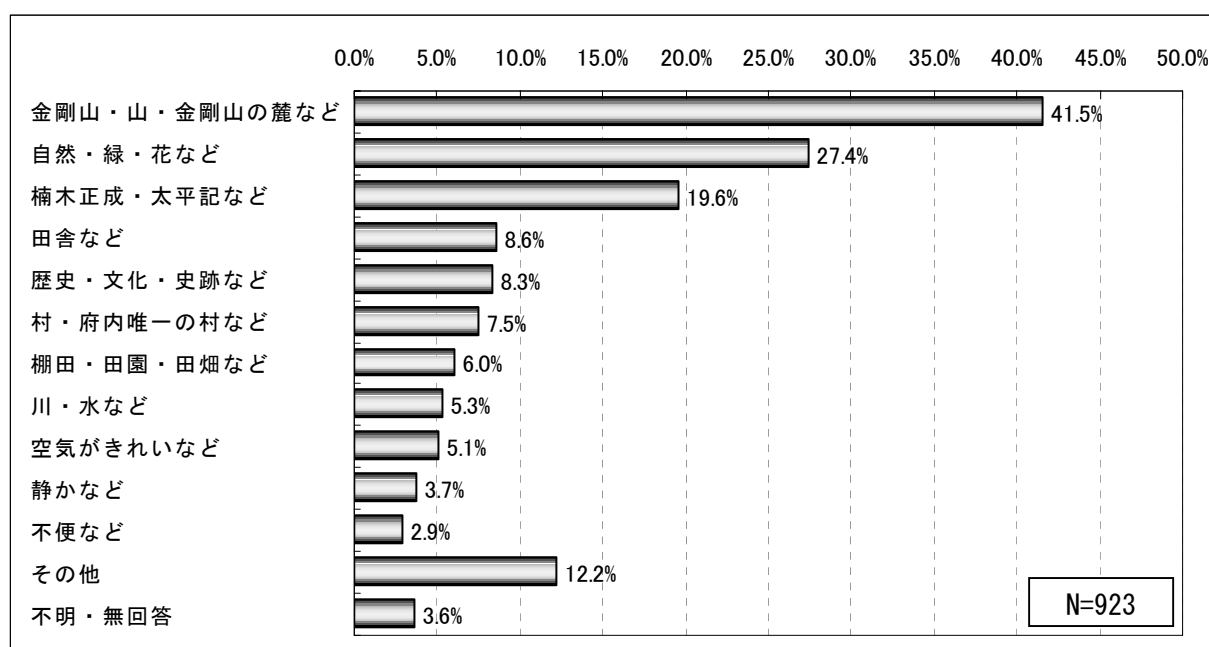
住宅の所有形態は、「持ち家」が96.0%と大半を占めており、「借家」や「社宅・寮」はわずかとなっています。

Ⅱ 調査の結果

1. 千早赤阪村のイメージ

問6 千早赤阪村らしさをイメージする時、どのような言葉が浮かびますか？単語または箇条書きをお願いします。（例：山・川・文化・楠木正成・花・城跡など）＜○は1つ＞

千早赤阪村をイメージする時に浮かぶ言葉として、1,264 人のうち 923 人に具体的な回答をしていただきました。回答を分類すると「金剛山、山、金剛山の麓など」が 41.5%でもっとも多く、次いで「自然、緑、花など」が 27.4%、「楠木正成、太平記など」が 19.6%となっています。



※設問は「1つまで」でしたが、複数に○をするケースが多かったため、複数回答として集計しています。

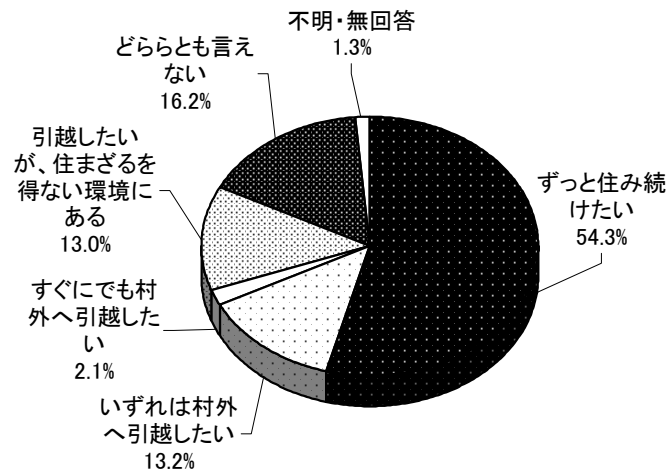
2. 村への愛着度・村の魅力・定住意向

(1) 定住意向

問7 今後とも千早赤阪村に住み続けたいと思いますか。＜○は1つ＞

千早赤阪村に住み続けたいと思うかについては、「ずっと住み続けたい」が 54.3 %と半数以上となっています。

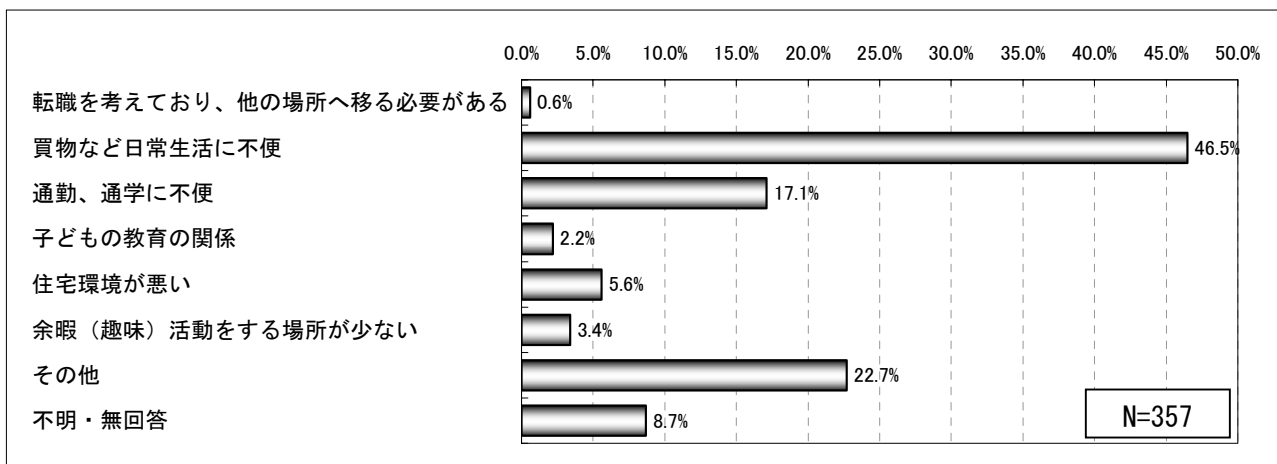
N=1, 264



(2) 引っ越したい理由

問8 問7で2、3又は4と答えられた方におうかがいします。引っ越したい理由とはどのような理由からですか<○は1つ>

問7で2、3又は4と答えられた方に、その理由を聞いたところ、引っ越したい理由としては、「買物など日常生活に不便」がもっとも多く半数近くにはのぼっています。次いで、「その他」が22.7%となっていますが、内容としては、交通の不便さや老後、今後の行政サービスなど将来への不安が比較的多くなっています。



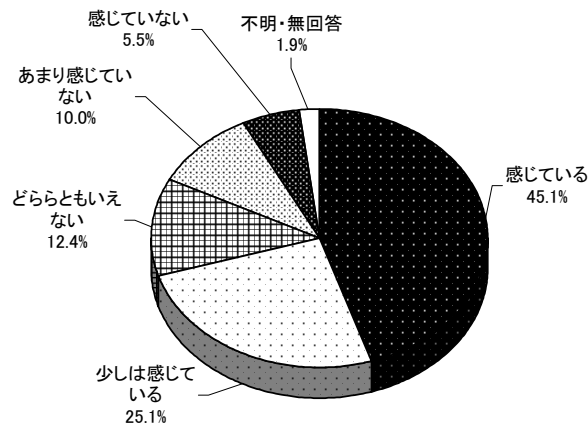
※設問は「1 つまで」でしたが、複数に○をするケースが多かったため、複数回答として集計しています。

(3) 千早赤阪村への愛着や誇り

問9 千早赤阪村に愛着や誇りを感じておられますか。<○は1つ>

愛着や誇りを「感じている」は 45.1%となっており、「少しは感じている」と合わせると 7 割以上が愛着や誇りを感じています。一方で「感じていない」、「あまり感じていない」とするのは合わせて 15.5%となっています。

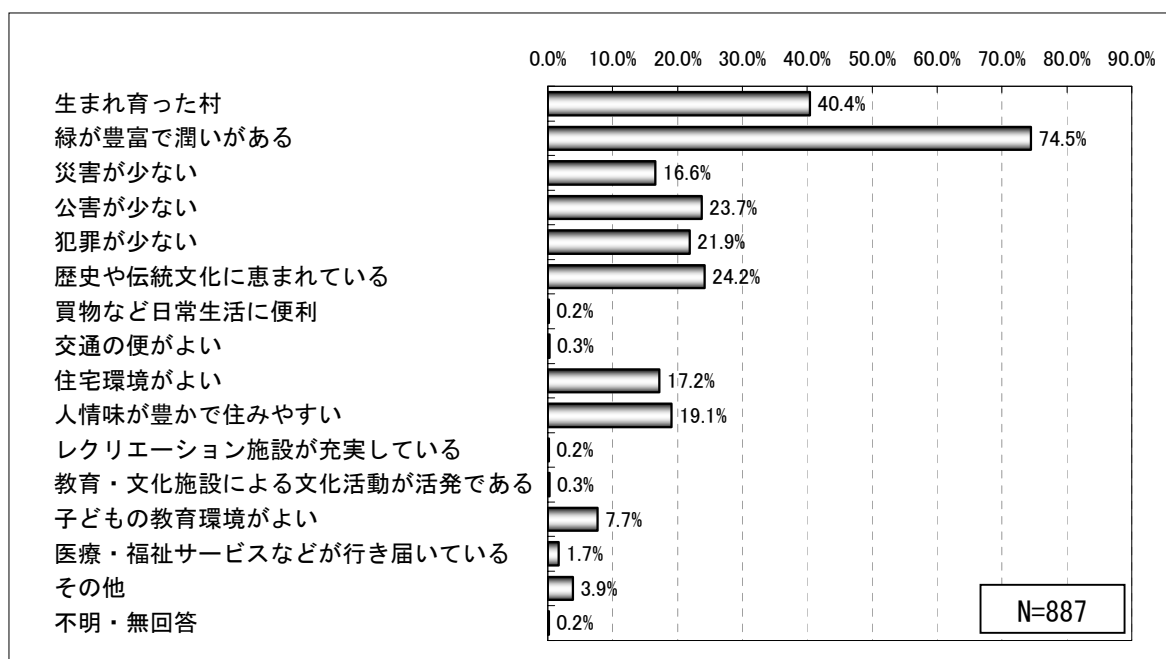
N=1,264



(4) 愛着や誇りを感じている理由

問10 問9で「1. 感じている」又は「2. 少しは感じている」とお答えになられた方におうかがいします。愛着や誇りを感じているのは、どのような理由からですか。＜〇は3つまで＞

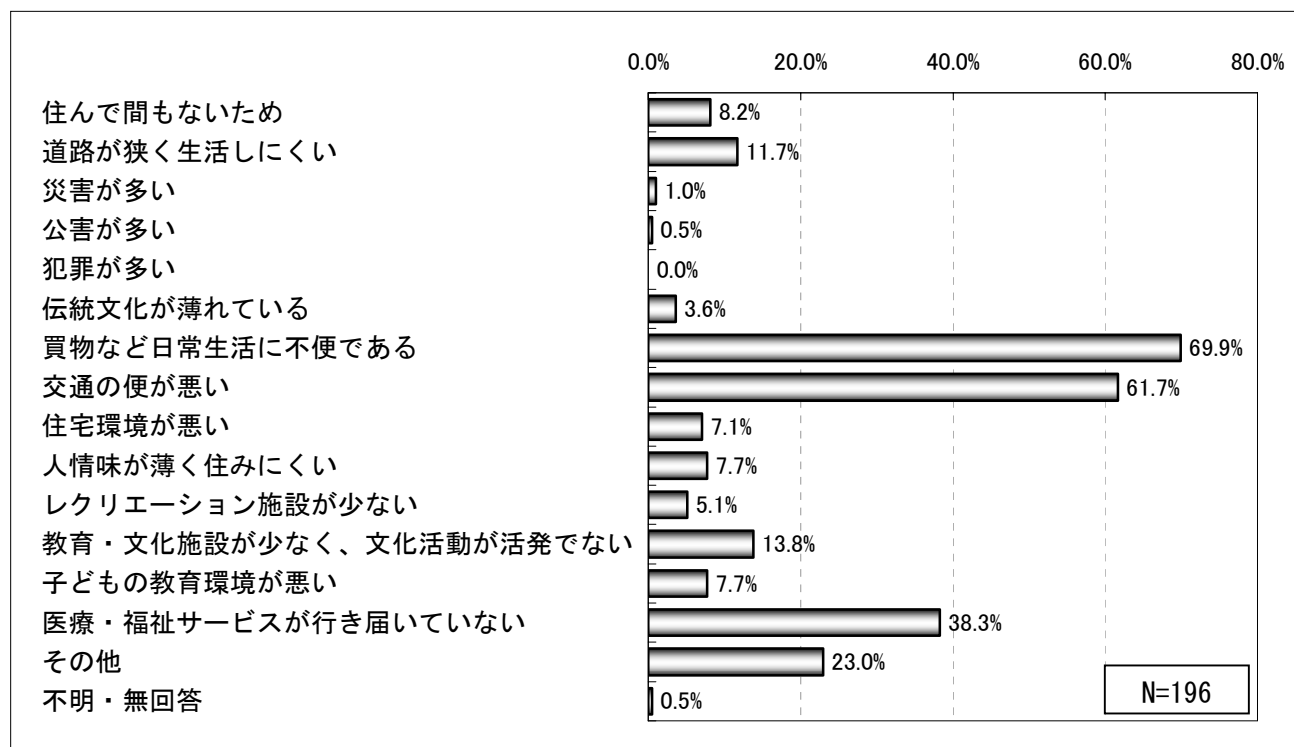
問9で「1. 感じている」又は「2. 少しは感じている」と答えた 887 人に愛着や誇りを感じている理由を聞いたところ、「緑が豊富で潤いがある」が 74.5%でもっとも高くなっています。次いで、「生まれ育った村」が 40.4%となっています。



(5) 愛着や誇りを感じない理由

問11 問9で「4. あまり感じていない」又は「5. 感じていない」とお答えになられた方にお
うかがいします。愛着や誇りを感じていないのは、どのような理由からですか<○
は3つまで>

問9で「4. あまり感じていない」又は「5. 感じていない」と答えた 196 人に愛着や誇りを感じて
いない理由を聞いたところ、「買物など日常生活に不便である」が 69.9%でもっとも高く、「交通
の便が悪い」の 61.7%とともに大きな理由になっていることがうかがえます。



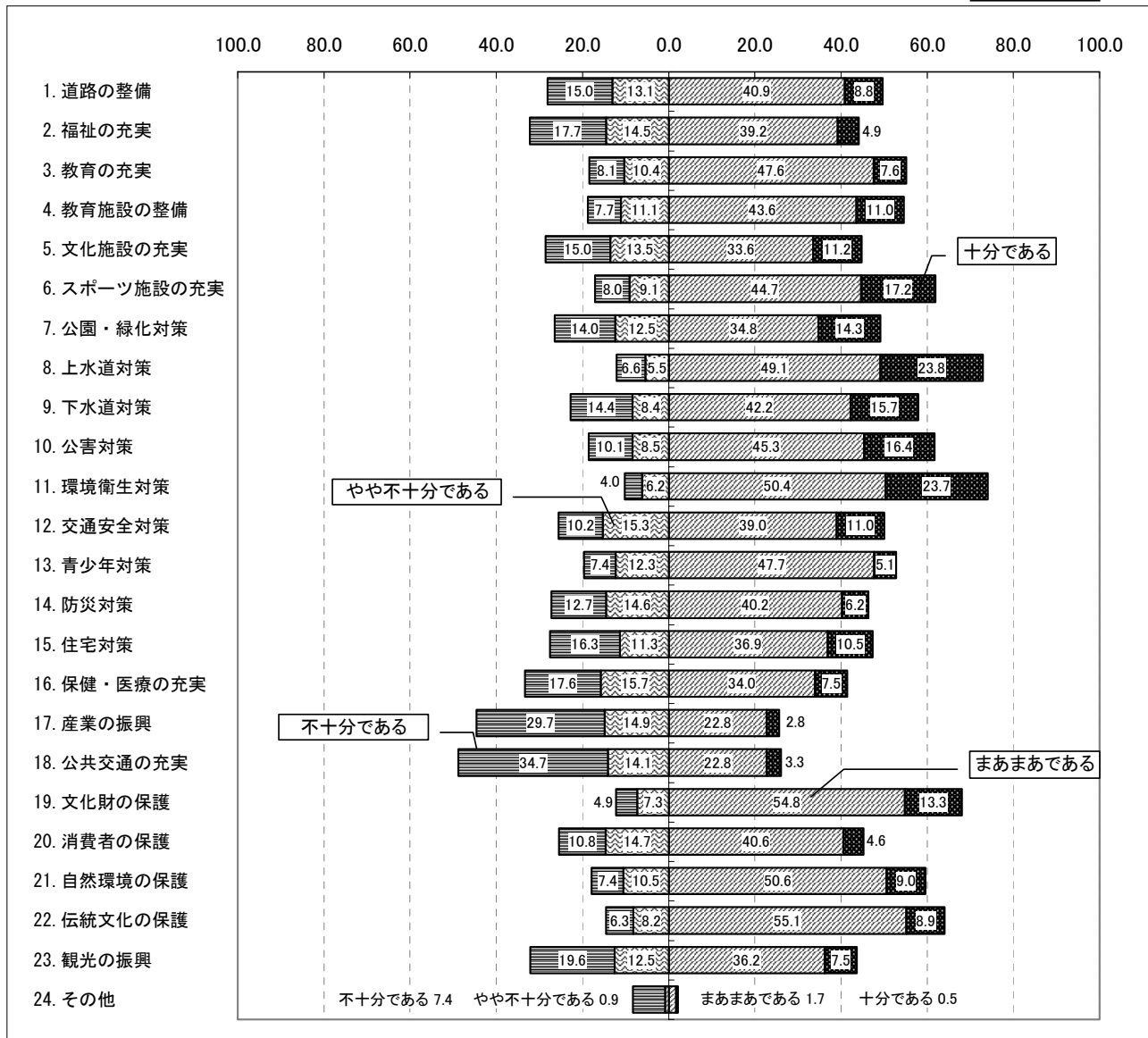
3. 施策ごとの満足度

問12 次のそれぞれの項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。＜○は1つずつ、計2つ＞

(現状評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



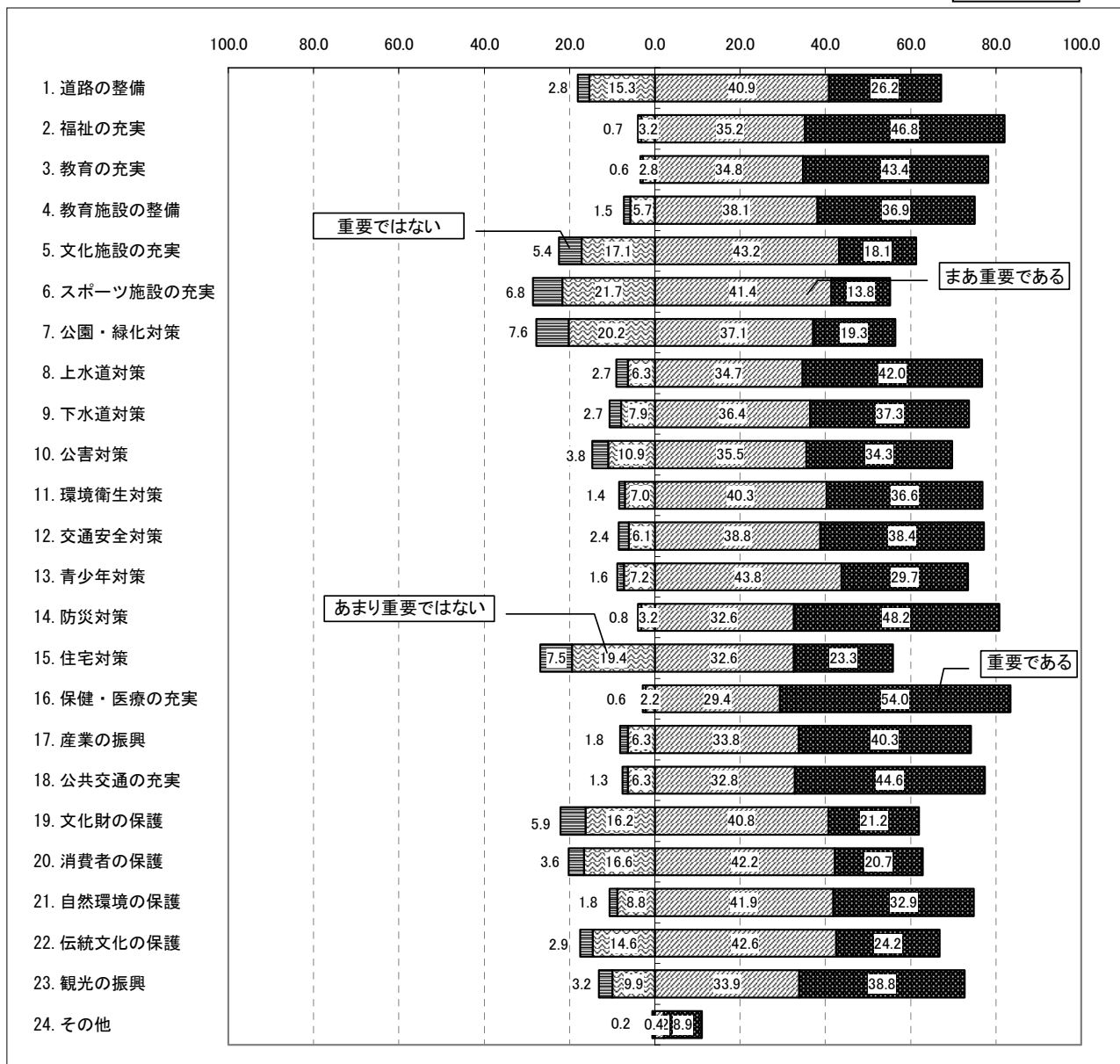
不十分

十分

(今後の重要性)

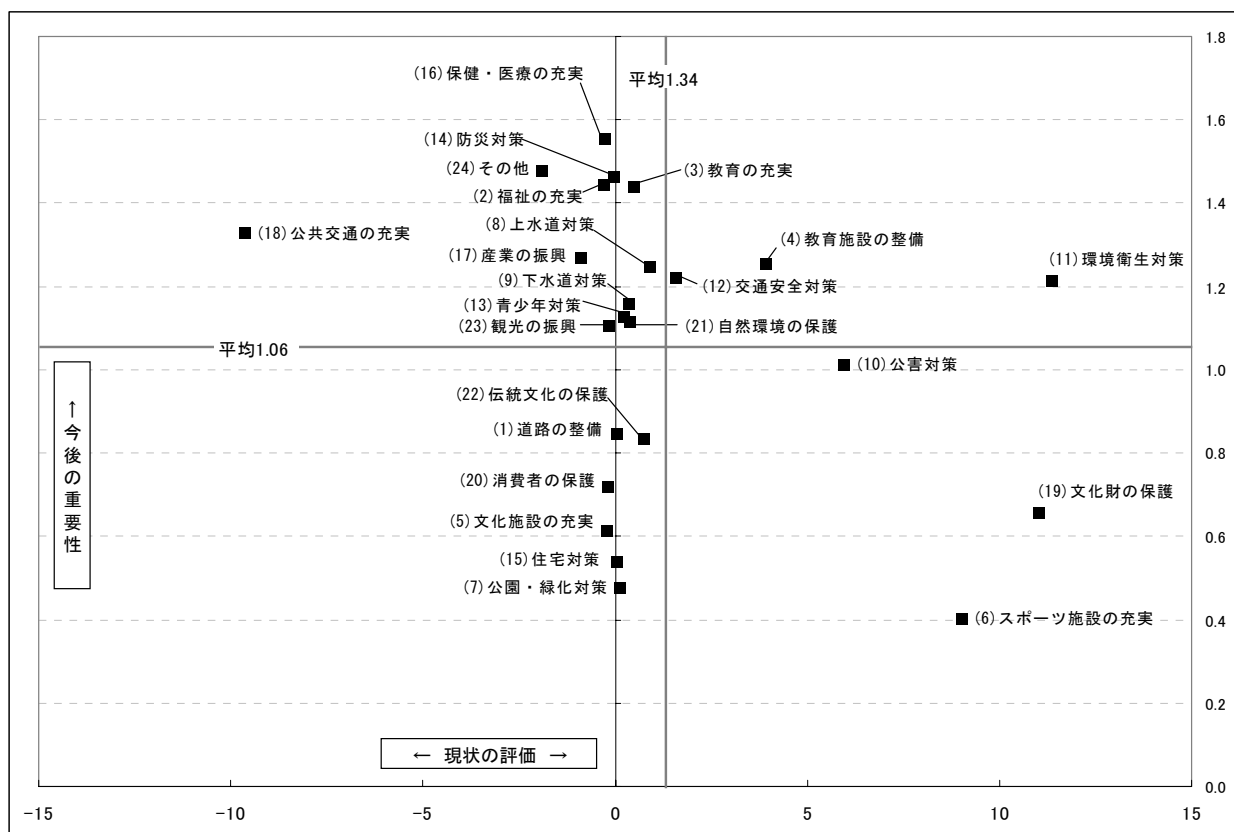
(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



(参考)

現状の評価と今後の重要性 散布図



(コメント)

現状の評価についてはそれぞれの件数に、「十分である」×2、「まあまあである」×1、「やや不十分である」×-1、「不十分である」×-2をそれぞれかけて合計との比率を出しています。

今後の取り組みの重要性についてもそれぞれの件数に、「重要である」×2、「まあ重要である」×1、「あまり重要ではない」×-1、「重要ではない」×-2をそれぞれかけて合計との比率を出しています。

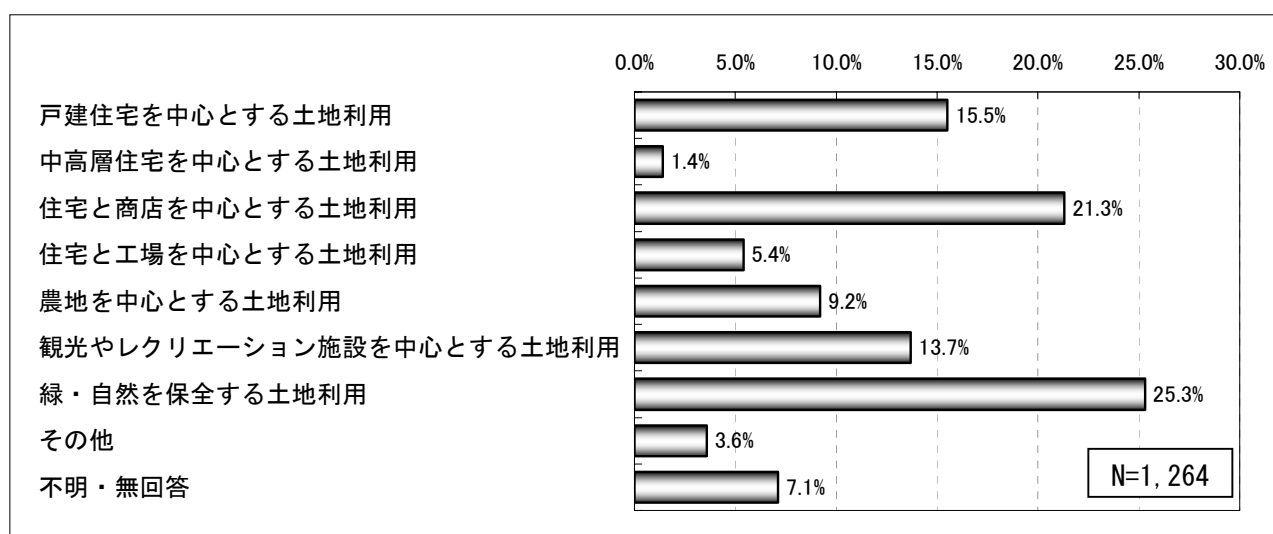
結果として、「公共交通の充実」、「環境衛生対策」、「文化財の保護」、「スポーツ施設の充実」の4項目の現状の評価に大きな差があること、今後の重要性についてマイナスの評価が少ないことなどから、中央に集中する散布図となっています。

4. 今後の土地利用

(1) 将来の土地利用について

問13 住んでいる地域の周辺は、将来どのような土地利用をすればよいと思いますか。
＜○は1つ＞

住んでいる周辺の将来の土地利用については、「緑・自然を保全する土地利用」が 25.3% ともっとも高く、次いで「住宅と商店を中心とする土地利用」が 21.3%、「戸建て住宅を中心とする土地利用」が 15.5%となっています。

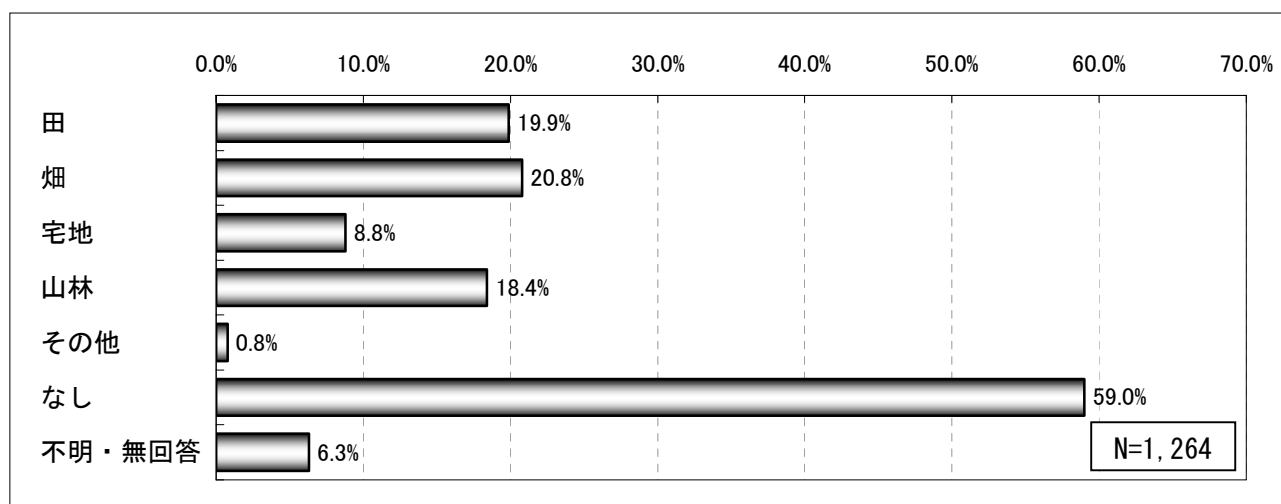


※設問は「1つまで」でしたが、複数に○をするケースが多かったため、複数回答として集計しています。

(2) 宅地以外の村内の土地所有について

問14 住宅地以外で、村内に土地をお持ちですか。＜あてはまるものすべてに○＞

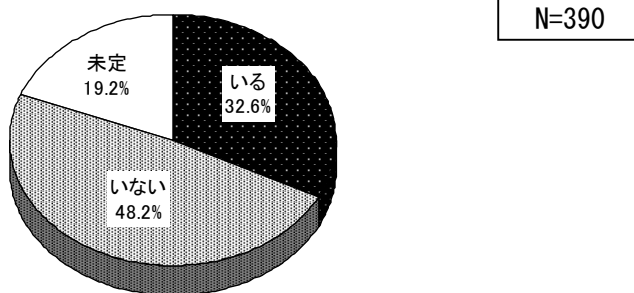
住んでいる住宅地以外の村内の土地所有については、「なし」が6割近くでもっとも高く、次いで「畑」が 20.8%、「田」が 19.9%、「山林」が 18.4%となっています。



（３）農業後継者について

問15-1 農業を営んでいる方におうかがいします。後継者はいますか。＜○は1つ＞

問 15-1で後継者が「いる」、「いない」、「未定」のいずれかに回答した 390 人の内訳では、「いない」が 48.2%と約半数となっています。また、「いる」との回答も3割を超えていますが、「未定」が2割となっています。

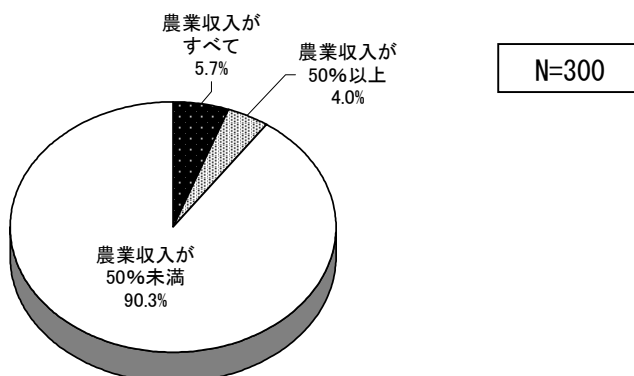


※不明・無回答を除く

（４）農業収入について

問15-2 一家の収入のうち、農業収入の占める割合はどれくらいですか。＜○は1つ＞

問 15-2 で「不明・無回答」を除く 300 人に一家の収入のうち、農業収入の占める割合を聞いたところ、「農業収入が 50%未満」が9割となっており、農家のほとんどが農業以外の収入が中心となっています。「農業収入がすべて」は 5.7%にとどまっています。

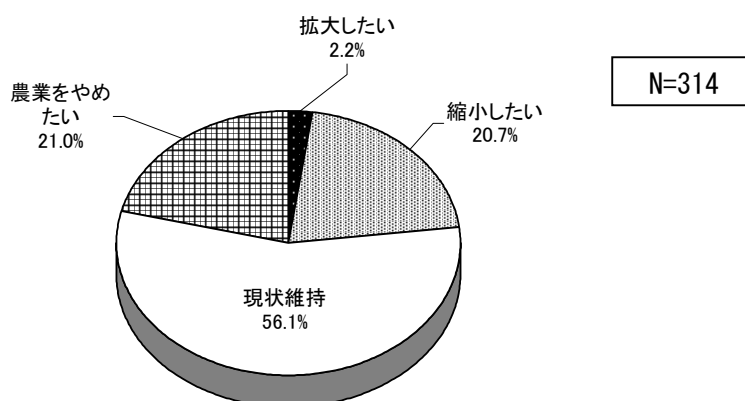


※不明・無回答を除く

（５）今後の農業経営の規模について

問15-3 将来(5年後)の農業経営の規模をどう考えていますか。＜〇は1つ＞

問 15-2 で「不明・無回答」を除く 314 人に将来の経営の規模について聞いたところ、「現状維持」が 56.1%と半数を超え、「拡大したい」は 2.2%にとどまっています。「農業をやめたい」、「縮小したい」がそれぞれ2割となっています。

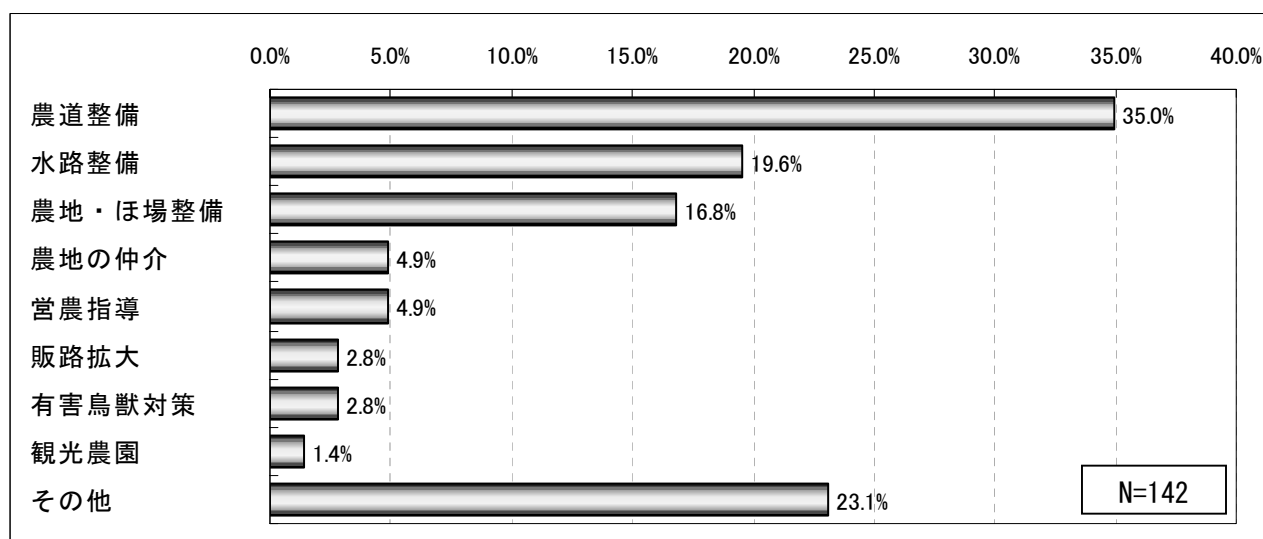


※不明・無回答を除く

（６）村の農業政策について

問15-4 村に農業政策としてどのようなことを期待していますか。（例：農道整備、水路整備、ほ場整備など）

問 15-4 で村に期待する農業政策を具体的に記入した 142 人の内容としては、「農道整備」が 35.0%でもっとも高く、次いで「水路整備」が 19.6%、「農地・ほ場整備」が 16.8%となっています。



5. 公共施設について

(1) 公共施設などの利用頻度について

問16-1 千早赤阪村の公共施設などをどの程度利用されていますか。〈○は1つ〉

(利用の頻度)

① 1週間に1回以上

公共施設などの利用頻度について、「1週間に1回以上」の利用は全体的に少なくなっていますが、もっとも高いのは、「いきいきサロン」の 6.3%で、その他の施設はいずれも5%未満となっています。「いきいきサロン」は「全く利用したことがない」も半数以上になっていることから、アンケート回答者に占める高齢の方の比率が高いことが影響していると考えられます。

② 1ヶ月に1回以上

「1ヶ月に1回以上」がもっとも高いのは、「くすのきホール図書室」で8.3%、その他では「農産物直売所」、「国保診療所」、「いきいきサロン」となっています。

③ 1年間に1回以上

「1年間に1回以上」では、「保健センター」が 20.9%となり5人に1人が利用していることになります。その他では、「くすのきホール大ホール」、「国保診療所」、「農産物直売所」、「役場小吹台連絡所」が 15%以上となっています。

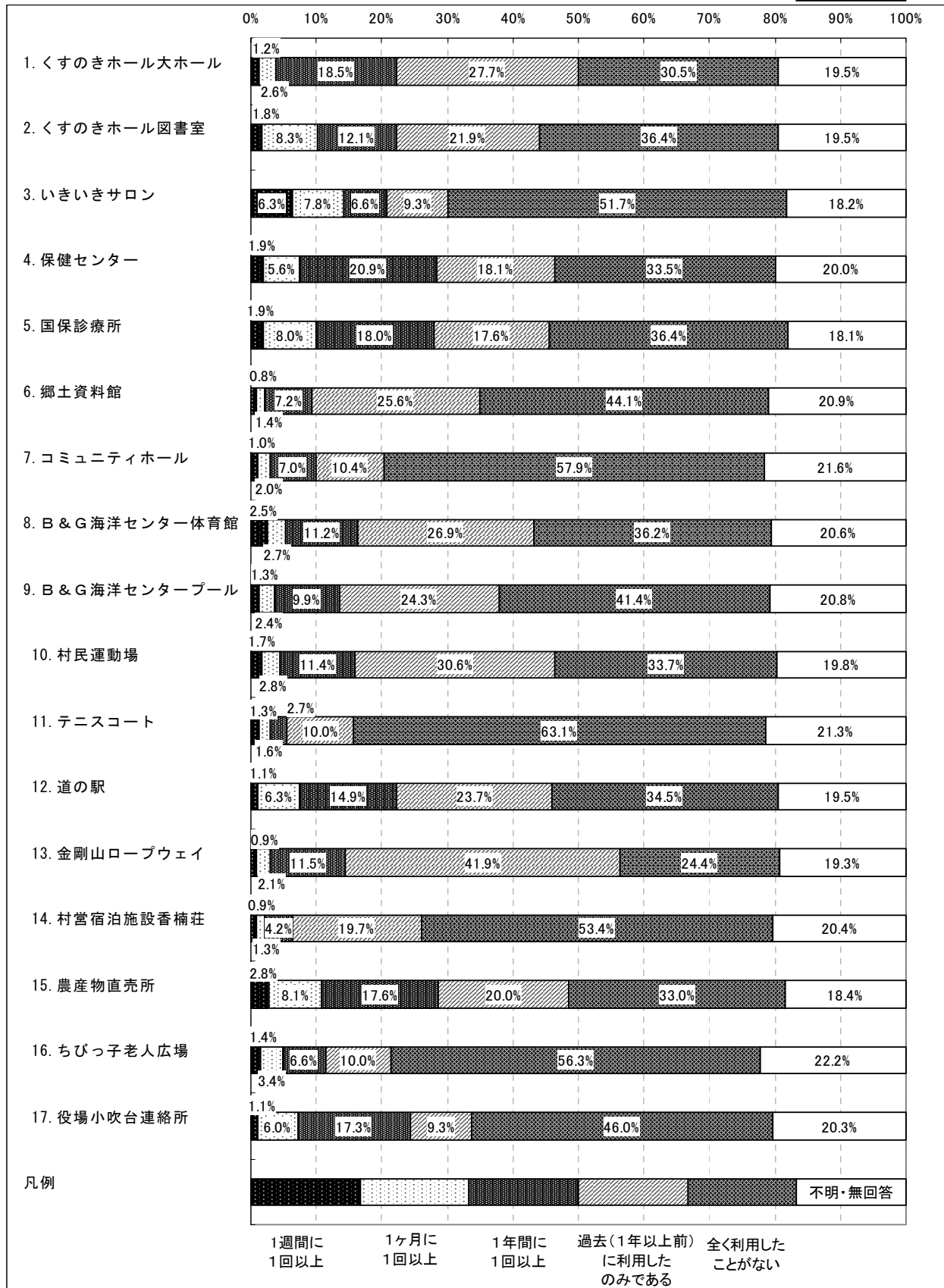
④ 過去（1年以上前）に利用したのみである

「過去に（1年以上前）に利用したのみである」のは、「金剛山ロープウェイ」が 41.9%となっており、1年以内の利用と合わせると2人に1人が利用していることとなります。その他で高いのは、「村民運動場」の 30.6%、「くすのきホール大ホール」の 27.7%、「B&G海洋センター体育館」の 26.9%、「郷土資料館」の 25.6%、「B&G海洋センタープール」の 24.3%となっています。

⑤ 全く利用したことがない

「全く利用したことがない」のは、「テニスコート」で 63.1%となっており、あまり利用されてされていないことがうかがえます。また、「コミュニティホール」が 57.9%、「ちびっ子老人広場」が 56.3%、「村営宿泊施設香楠荘」が 53.4%となっています。

N=1,264



(2) 公共施設などの必要度について

問16-2 千早赤阪村の公共施設などの必要度についてどのように思いますか。＜○は1つ＞

(施設などの必要度)

①必要である

公共施設など中で、必要度の高いものとしては、「国保診療所」が 52.1%で第1位、次いで「富田林消防本部千早赤阪分署」が 50.2%、「保健センター」が 45.6%となっており、「富田林消防本部千早赤阪分署」については、「不明・無回答」を除くとさらに必要度が高くなることから、安全・安心に関わる施設の重要度が高くなっています。また、過去の利用がもっとも多い「金剛山ロープウェイ」の重要度も高くなっています。一方で過去の利用が少ない「コミュニティホール」と「テニスコート」についての必要度は低くなっています。

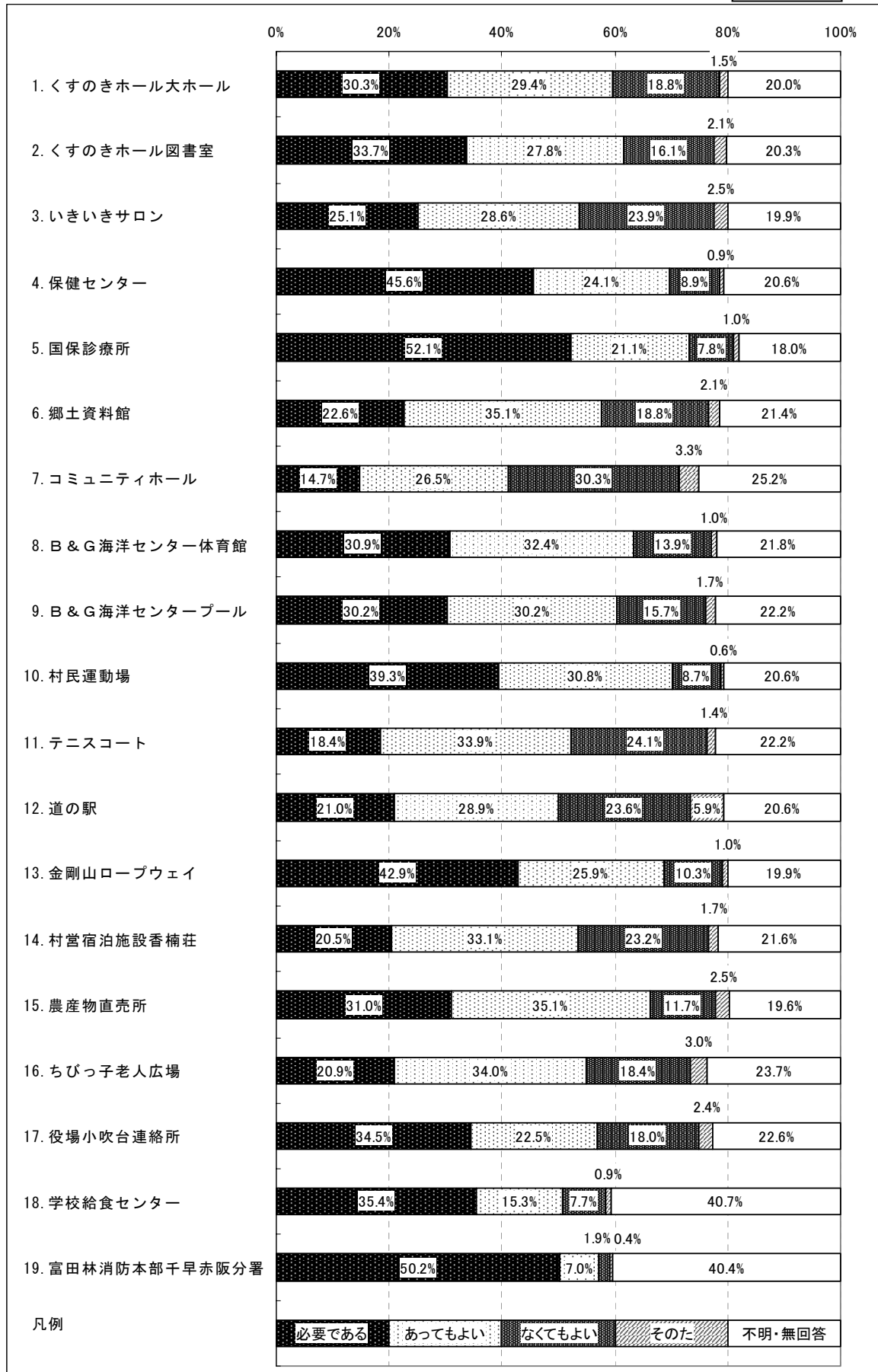
②あってもよい

「あってもよい」とする公共施設などとしては、「郷土資料館」と「農産物直売所」が 35.1%でそれぞれもっとも高くなっています。また、利用度は低いものの「ちびっ子老人広場」も「あってもよい」が 34.0%となっています。

③なくてもよい

「なくてもよい」公共施設などとして、「コミュニティホール」が 30.3%と特に高くなっています。その他で「なくてもよい」とする比率が高いのは、「テニスコート」、「いきいきサロン」、「道の駅」、「村営宿泊施設香楠荘」となっています。

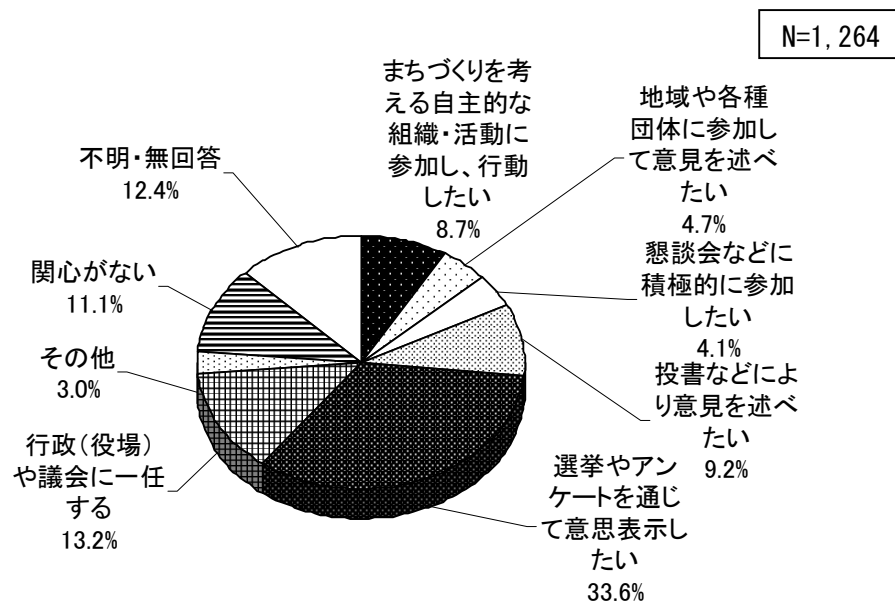
N=1, 264



6 まちづくりへの参加

問17 まちづくりへの参加についてどう考えていますか。＜○は1つ＞

まちづくりへの参加については、「選挙やアンケートを通じて意思表示したい」が 33.6%で最も高く、次いで「行政(役場)や議会に一任する」が 13.2%、「投書などにより意見を述べたい」が 9.2%となっており、間接的な参加の占める比率が高くなっています。



7 地域活動・ボランティア活動、参画・協働について

(1) 地域社会での住民の役割について

問18 これからの地域社会において、住民がどの程度の役割を担っていかなければならないと思いますか。＜○は1つ＞

これからの地域社会における住民の担う役割について、「自治会など、身近で基礎的な地域活動に積極的に参加する」では、「積極的に行うべき」が 21.3%、「できれば行うべき」が 44.1%と高くなっています。

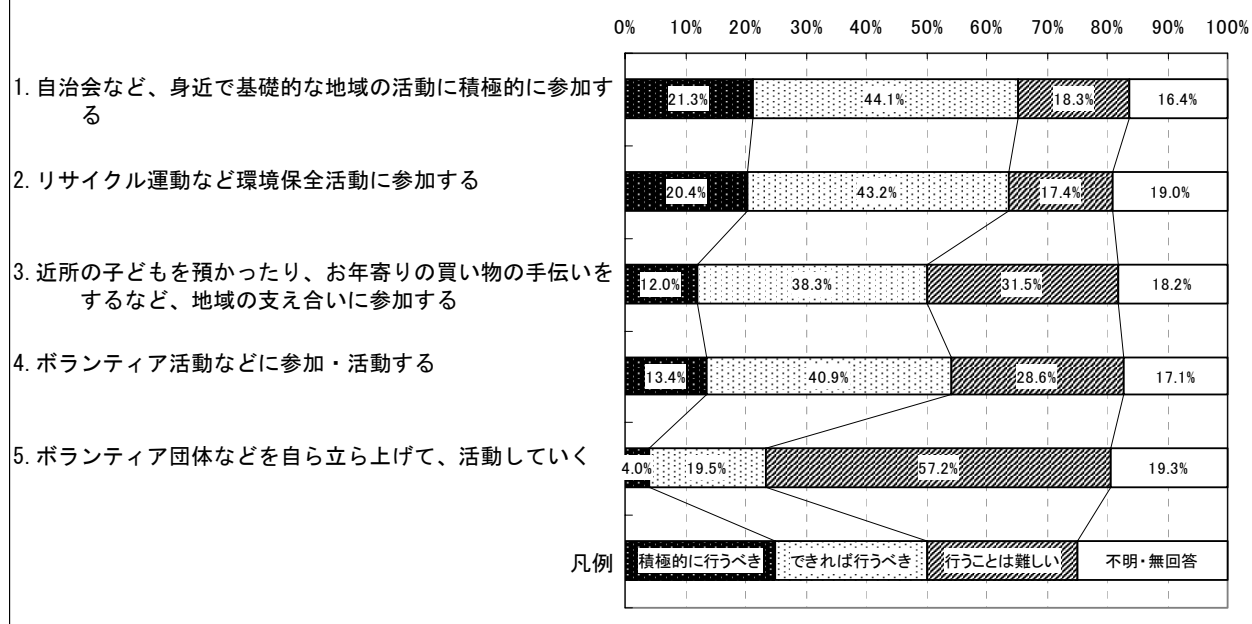
「リサイクル運動など環境保全活動に参加する」も同様に高くなっています。

「近所の子どもを預かったり、お年寄りの買い物の手伝いをするなど、地域の支え合いに参加する」は、先の2項目より「積極的に行うべき」が 12.0%と低くなり、「行うことが難しい」が3割となっていますが、「できれば行うべき」は4割近くあります。

「ボランティア活動などに参加・活動する」も同様の傾向にあります。

一方で、「ボランティア団体などを自ら立ち上げて、活動していく」については、「行うことが難しい」が6割近くになりますが、「できれば行うべき」も2割程度あります。

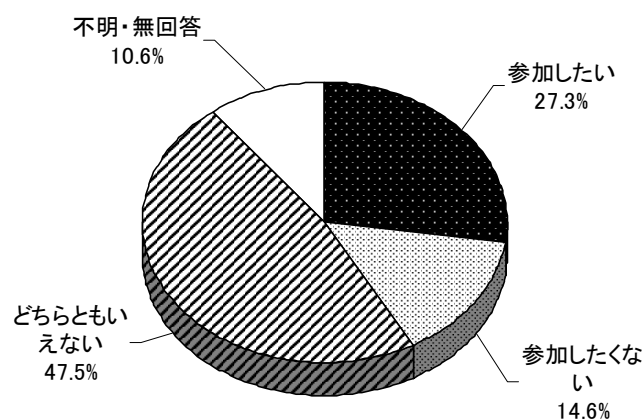
N=1,264



（２）ボランティア活動への参加意向

問19 あなたは、ボランティア活動などの地域活動について、参加の機会があれば積極的に参加したいと思いますか。＜○は1つ＞

ボランティア活動など地域活動への参加意向は、「参加したい」が 27.3%、「参加したくない」が 14.6%となっています。もっとも高いのは「どちらとも言えない」で 47.5%となっています。

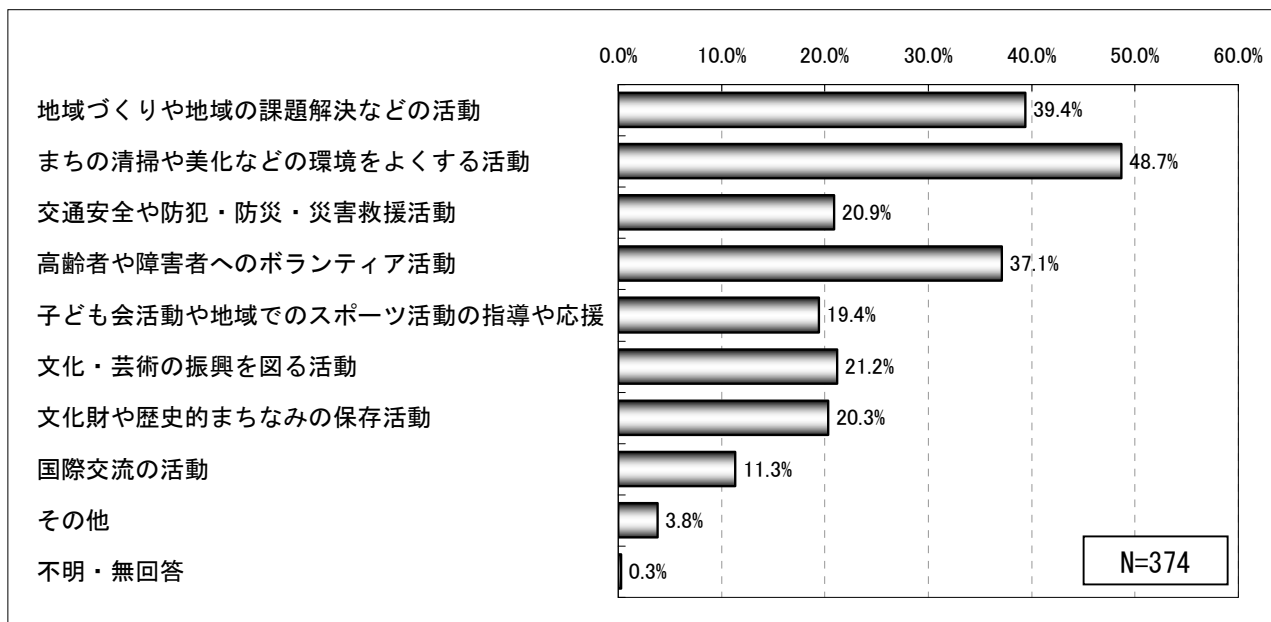


N=1,264

(3) 参加したい活動の内容

問19-1 問19で「1. 参加したい」とお答えの方にお聞きします。どのような内容の活動に参加したいですか。＜〇は3つまで＞

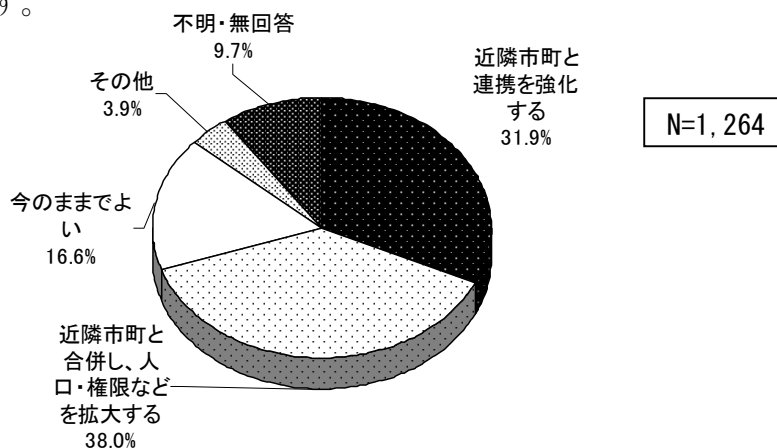
問19で「1. 参加したい」と回答された374人に、どのような活動に参加したいか聞いたところ、「まちの清掃や美化などの環境をよくする活動」が48.7%と約半数となっています。次いで、「地域づくりや地域の課題解決などの活動」が39.4%、「高齢者や障害者へのボランティア活動」が37.1%となっています。



8 行政の広域化

問20 これからの時代によっては、行政のあり方が大きく変わることも考えられます。行政の広域化についてどのようにお考えですか。＜〇は1つ＞

行政の広域化については「近隣市町と合併し、人口・権限などを拡大する」が38.0%でもっとも高くなっていますが、「近隣市町と連携を強化する」も31.9%となっており、「今のままでよい」は16.6%にとどまるなど、いずれにしても近隣市町との合併もしくは連携を住民の方も意識されていることがうかがえます。

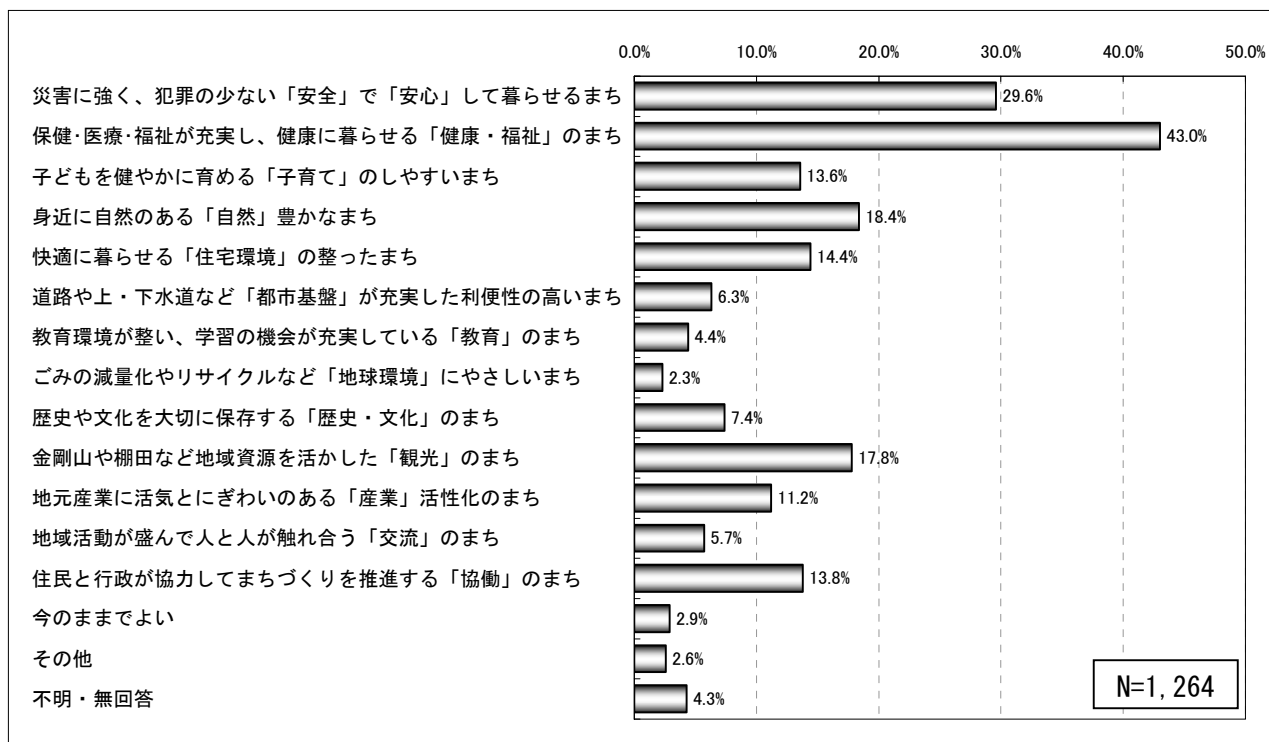


9 村の望ましい将来像

(1) 村の将来像

問21 将来、千早赤阪村がどのようなまちであってほしいとお考えですか。〈〇は2つ〉

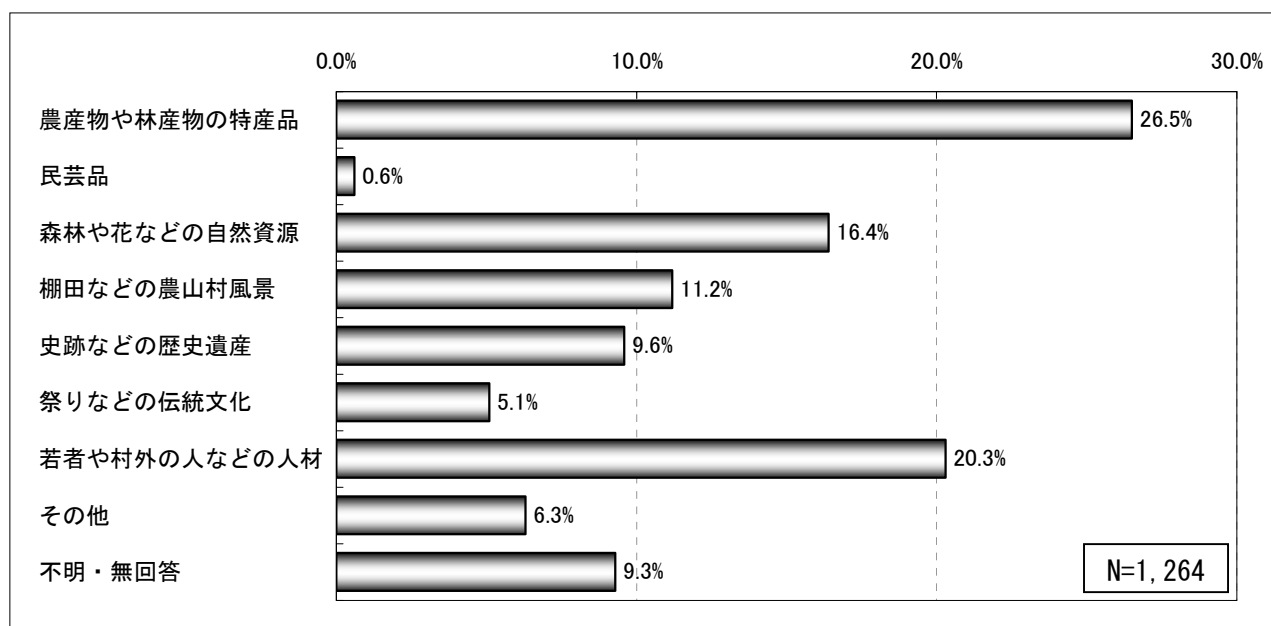
将来の望ましい姿としては、「保健・医療・福祉が充実し、健康に暮らせる「健康・福祉」のまち」が 43.0%でもっとも高くなっています。次いで「災害に強く、犯罪の少ない「安全」で「安心」して暮らせるまち」が 29.6%となっています。村への愛着や誇りを感じる理由で「緑が豊富で潤いがある」が74.5%、将来の土地利用でも「緑・自然を保全する土地利用」が25.3%とそれぞれ高くなっていますが、将来の姿として「身近にある「自然」豊かなまち」は18.4%にとどまっています。



(2) 村が活性化するための地域資源

問22 千早赤阪村が活性化するためには、どのような地域資源を活かしていけばよいと考えますか。〈〇は1つ〉

村が活性化するために活かしていく地域資源としては、「農産物や林産物の特産品」がもっとも高くなっています。次いで、「若者や村外の人などの人材」が 20.3%となっています。



※設問は「1 つまで」でしたが、複数に○をするケースが多かったため、複数回答として集計しています。

問23 最後に、千早赤阪村の現況やこれからのまちづくりなどについて、何かご意見・提案・アイデアなどがあれば、自由にご記入ください。

次のような内容です。

- ・人口について：44 件
- ・自然と歴史文化について：53 件
- ・産業の振興について：115 件
- ・学習・教育について：4 件
- ・その他について：41 件
- ・土地利用について：21 件
- ・都市基盤について：113 件
- ・安全・安心について：26 件
- ・協働・行政について：186 件

